

本資料には、個別工事費などの機微な情報が含まれているため、
一部情報については、マスキング処理をしております。

「東北東京間連系線に係る広域系統整備計画」における 福島幹線山線に係る工事費増額の確認について

2024年 12月 3日
広域系統整備委員会
コスト等検証小委員会事務局

- 東北東京間連系線にかかわる広域系統整備計画は、事業実施主体である東北NW・東京PGがそれぞれ工事を実施中。
- この工事のうち「福島幹線山線No.10鉄塔建替工事」については、2024年6月に事業実施主体である東京PGより、工事費が増額見込みである旨の報告を受けている状況。
- 工事費増額についてその内容を確認していくにあたり、第44回本委員会（24年10月）において、以下の検証ポイントについて確認することとした。本日は下記のうち、B-2および（C）についてご確認いただきたい。
 - （A）送電工事の設計に関する内容の確認 ※前回報告済み
 - （B）調達プロセスの確認
 - B - 1 調達プロセスの確認（請負工事） ※前回報告済み
 - B - 2 調達プロセスの確認（鉄塔材）**
 - （C）プロジェクト管理体制の確認**

1. 第44回コスト小委(10/31)におけるご質問に対する回答

2. 工事費増額確認について

(B) 調達プロセス（予報発注から契約決定まで）の確認（請負工事・鉄塔材）

B-2. 調達プロセスの確認（鉄塔材）

(C) プロジェクト管理体制の確認

3. 工事費増額の確認結果のまとめ

1の内容は、非公表

1. 第44回コスト小委(10/31)におけるご質問に対する追加回答
2. 工事費増額確認について
 - (B) 調達プロセス（予報発注から契約決定まで）の確認（請負工事・鉄塔材）
 - B-2. 調達プロセスの確認（鉄塔材）**
 - (C) プロジェクト管理体制の確認
3. 工事費増額の確認結果のまとめ

2-(B)の内容は、非公表

1. 第44回コスト小委(10/31)におけるご質問に対する追加回答
2. 工事費増額確認について
 - (B) 調達プロセス（予報発注から契約決定まで）の確認（請負工事・鉄塔材）
 - B-2. 調達プロセスの確認（鉄塔材）
 - (C) プロジェクト管理体制の確認**
3. 工事費増額の確認結果のまとめ

2-(C)の内容は、非公表

1. 第44回コスト小委(10/31)におけるご質問に対する追加回答
2. 工事費増額確認について
 - (B) 調達プロセス（予報発注から契約決定まで）の確認（請負工事・鉄塔材）
 - B-2. 調達プロセスの確認（鉄塔材）
 - (C) プロジェクト管理体制の確認
- 3. 工事費増額の確認結果のまとめ**

I. 東北東京間連系設備に係る広域系統整備計画のうち東京PGにおける工事費増額の内容確認

- 整備計画における個別工事件名のうち、東京PGが実施主体として工事中の「福島幹線山線No.10鉄塔建替工事」について、2024年6月に東京PGから工事費増額見込みである旨の報告を受け、本委員会にて、検証ポイントに沿って内容の確認を行った。
- これまでの内容確認の結果について、次頁で報告させていただく。

<検証ポイント>

- (A) 送電工事の設計に関する内容の確認
- (B) 調達プロセスの確認
 - B-1 調達プロセスの確認 (請負工事)
 - B-2 調達プロセスの確認 (鉄塔材)
- (C) プロジェクト管理体制の確認

<本委員会の開催実績>

★コスト等検証小委員会

事業実施主体	2024年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q
東京PG		★ ★	★ ★	

II. (A)送電工事の設計に関する内容の確認

- ▶ 今回の工事費増額の主な要因は、調査・設計業務の進展に伴い、鉄塔建替基数が1基から2基に増加したことによるものである。（保安伐採等の関係から、建替予定であったNo.10鉄塔の高鉄塔化が必要となり、それに伴い、当初計画していなかった隣接鉄塔のNo.11鉄塔の高鉄塔化も必要となったため）
- ▶ この工事内容変更については、他の一般送配電事業者の協力を得て、更なるコスト低減のアイデアを出し合い、適用可否の確認を行うなど、対策の適切性を確認した。

II. (B) 調達プロセスについて

< B - 1 調達プロセスの確認（請負工事） >

- ▶ 東京PGから提案のあったコスト低減策について、カフェテリア方式以外のコスト低減策はすべて適用しており、一定の低減効果があったことを確認した。

< B - 2 調達プロセスの確認（鉄塔材） >

- ▶ 東京PGから提案のあったコスト低減策について、共同調達以外のコスト低減策はすべて適用しており、一定の低減効果があったことを確認した。

II. (C) プロジェクト管理体制について

- 工事費増額や工程遅延等の見通しが立った際に、各事業実施主体の管理体制図に基づき、報告・指示がなされているか、対応の状況を確認した。
- その結果、東京PGの工事費増額の報告については、より早い段階で広域機関に工事費増額について報告できたといえることを確認した。

III. まとめ

- 東北東京間連系設備に係る広域系統整備計画における東京PGの工事費増額の内容確認については、今回をもって終了とする。
- 東京PGにおいては、更なるコスト低減について検討を継続するとともに、その他工事についてもコスト低減に向けて取組を進めていただきたい。
- 本整備計画における東京PGの主要工事・主要設備などの発注契約は、太宗が完了していることから、今後、大きな工事費の変動はないものと想定されるが、万が一、更なるコスト低減などを最大限に考慮しても、工事費が増加となる見通しを把握した場合にはその時点で事業実施主体は広域機関へ速やかに報告することとし、本整備計画における東京PGの工事費の増額の規模感も踏まえて、対応を検討していくこととしたい。